

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語 I		
科目基礎情報								
科目番号	0008			科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 3			
開設学科	物質工学科			対象学年	1			
開設期	通年			週時間数	3			
教科書/教材	Polestar English Communication I (数研出版)							
担当教員	杉山 桂子							
到達目標								
1. 教室内の英語表現や教科書の新出単語・表現(約390個)を理解し、活用することができる。 2. 教科書の内容を読み取り、内容に関する質問に答えることができる。 3. クラスメートと協働して授業活動にとりくむ事ができる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	新出単語・表現(約390個)を正確に理解し、活用することができる。			新出単語・表現(約390個)を理解し、活用することができる。		新出単語・表現(約390個)を理解し、活用することができない。		
評価項目2	教科書の内容を読み取り、内容に関する質問に正確に答えることができる。			教科書の内容を読み取り、内容に関する質問に答えることができる。		教科書の内容を読み取り、内容に関する質問に答えることができない。		
評価項目3	積極的にクラスメートと協働して授業活動にとりくむ事ができる。			クラスメートと協働して授業活動にとりくむ事ができる。		クラスメートと協働して授業活動にとりくむ事ができない。		
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育到達度目標 ③								
教育方法等								
概要	主に、リーディング力と文法知識と単語力を伸ばす授業である。文法の説明以外は基本的に英語で授業。説明事項は、スライドで伝えたり、プリントで渡すことにより、学生がノートに板書する時間は極力排除。タスク(例、単語学習、読解、文章朗読等)を与えて、それをペアのパートナーと共に取り組む活動を多く行う。							
授業の進め方・方法	新しい文章を読む前には、文章の題材・話題に興味を持たせるための活動を写真等を使って行う。その後、プリントと教科書を使い、新出単語の学習と比較簡単な読解問題に取り組みさせる。その後、難しい表現や文法事項を、スライドやプリントで行う。最後に、英文と対訳がのったプリントを渡し、ペアで朗読や和訳の作業に取り組みさせる。レッスンの最後には、文章の題材に関して、興味のあることを調べて、その結果を書かせたり、口頭発表させたりする活動を行う。							
注意点	特に無し							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	L. 3 The Adventures of Ishikawa Naoki			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		2週	L. 3 The Adventures of Ishikawa Naoki			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		3週	L. 3 The Adventures of Ishikawa Naoki			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		4週	L. 3 The Adventures of Ishikawa Naoki			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		5週	L. 4 Bright Stars in a Dark Sky - Tekapo			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		6週	L. 4 Bright Stars in a Dark Sky - Tekapo			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		7週	L. 4 Bright Stars in a Dark Sky - Tekapo			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
	8週	前期中間試験			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。			
	2ndQ	9週	L. 4 Bright Stars in a Dark Sky - Tekapo			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		10週	L.5 The story of Amazing Grace			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		11週	L.5 The story of Amazing Grace			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		12週	L.5 The story of Amazing Grace			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		13週	L.5 The story of Amazing Grace			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		14週	L. 6 The Dark Side of Diamonds			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		15週	L. 6 The Dark Side of Diamonds			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
16週		前期定期試験						
後期	3rdQ	1週	L. 6 The Dark Side of Diamonds			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		2週	L. 6 The Dark Side of Diamonds			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		
		3週	L. 7 Ice cream that does not melt.			新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。		

		4週	L. 7 Ice cream that does not melt.	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		5週	L. 7 Ice cream that does not melt.	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		6週	L. 7 Ice cream that does not melt.	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		7週	L. 8 The World of Haiku	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	L. 8 The World of Haiku	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		10週	L. 8 The World of Haiku	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		11週	L. 8 The World of Haiku	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		12週	L. 10 Messages from a Trunk	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		13週	L. 10 Messages from a Trunk	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		14週	L. 10 Messages from a Trunk	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		15週	L. 10 Messages from a Trunk	新出表現を使うことができる。英文の内容理解の問題に答えることができる。
		16週	後期定期試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	1	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	1	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	前1
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	1	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	1	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	1	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	1	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	1	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	1	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	

評価割合

	試験	小テスト	課題	態度	合計
総合評価割合	65	10	15	10	100
基礎的能力	65	10	15	10	100